

令和 5 年 6 月 19 日現在

機関番号：33919

研究種目：若手研究

研究期間：2018～2022

課題番号：18K12735

研究課題名（和文）カリブにおける左派政権の連合と戦略に関する研究

研究課題名（英文）A Study of Leftist Regime Coalitions and Strategies in the Caribbean

研究代表者

森口 舞（Moriguchi, Mai）

名城大学・理工学部・助教

研究者番号：80774893

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,100,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、カリブ諸国、特にキューバ、ジャマイカ、トリニダード・トバゴを事例に、政治の視点から、相互の関係性や国・地域に対するアイデンティティの実相とその背景の一端を明らかにした。地域内でも特殊な立場にあるキューバに対する関係性や意識の変遷を明らかにした他、ジャマイカとトリニダード・トバゴで実施した意識調査からは、両国市民のアイデンティティを外国に対する好悪感情から分析している。また、カリブ全域で人口の多数を占めるアフリカ系の人々のアイデンティティをアフリカ系宗教の規制法に着目して考察した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

カリブは、植民地と奴隷制の歴史、先住民の激減、そして海に浮かぶ小さな島が多いという歴史・地理的条件から、近隣の国家同士の関係が世界の他地域と比較して相対的に薄い。このようなカリブにおいて、人々が他国、地域に対してどのような意識を持ち、国々が関係性を築いてきたのかを知ることが本研究の目的である。孤立するかに思われたキューバと他カリブ諸国との関係など、こうした地域独特のアイデンティティのあり方の理解があって説明が可能となるイシューは少なくなく、ここに学術的、社会的意義があると考えられる。

研究成果の概要（英文）：This study focuses on the relationships and the identity towards nations and regions from a political perspective, with the Caribbean countries' cases, particularly Cuba, Jamaica, and Trinidad and Tobago. It revealed the relationships and consciousness towards Cuba, which holds a unique position within the region. Additionally, through the conducted surveys on consciousness in Jamaica and Trinidad and Tobago, it analyzed the identity of citizens of both countries based on their attitudes towards foreigners. Furthermore, it examined the identity of Afro-descendants, who constitute a significant portion of the population in the Caribbean region, focusing on the regulatory laws of Afro Caribbean religion.

研究分野：地域研究

キーワード：カリブ キューバ ジャマイカ トリニダード・トバゴ CARICOM ナショナリズム

1. 研究開始当初の背景

現在、世界各地で地域統合の試みがなされており、カリブもそのひとつである。地域統合を至上命題とする政治指導者は少なくないが、多くの事例同様に様々な要因から進展は遅々としている。こうした状況の中、いくつかのカリブ諸国における左派政権の接近や協力関係強化が2000年代以降見られ、それはカリブ統合の思想的基盤となる潜在性をも指摘できる。当初、本研究はこの左派ナショナリズムや地域アイデンティティを明らかにしていくものであった。

2. 研究の目的

カリブ統合の基盤ともなり得るであろう、左派的ナショナリズムあるいは地域アイデンティティを歴史・政治の視点から明らかにする。

3. 研究の方法

主として文献調査にて行い、これに加えて現地での聞き取り調査、市民への意識調査、そして新聞データベースを用いた報道の分析を方法として用いている。意識調査はテキストマイニングを用いて分析を行っている。

4. 研究成果

本研究は、新型コロナウイルス感染症の流行によって研究対象国への渡航機会が極めて制限されていたこともあり、当初の計画から若干の変更はあったが、以下の通り成果を得ることができた。

2018年度、2019年度にはキューバとCARICOMの政治や経済における関係性の変遷についての研究を行った。両者の関係は近年強化・改善されていることがみとれるが、従来それは冷戦終結の結果による限定的なものであるとの見方がなされてきた。これに対し、CARICOM諸国にとって政治的には異質な体制と言える左派政権のキューバとの接近の背景を、ロメ協定で保障されていた特恵待遇がなくなることをはじめとする旧宗主国との関係性の変化から明らかにした。またこの背景には、長年キューバが行ってきた共産党一党体制による政権の反米や途上国支援と連帯政策がキューバにとって有利な形で作用していることを見出した。キューバの現体制はラテンアメリカ・カリブ地域における同国の孤立の原因になっているという理解も少なくないが、“反帝国主義”を掲げる地域連帯政策は、地域においてキューバに対する好意的な感情を一定程度醸成していたことが明らかになった。またこの結果は、次に述べるジャマイカとトリニダード・トバゴで実施した意識調査からも見て取ることができた。

この成果は、2018年1月、ソウルの世宗研究所で行われた日韓研究者知的交流会及び2018年6月に日本ラテンアメリカ学会第39回定期大会にて口頭発表を行った後、論文にまとめ、2019年7月にラテンアメリカ研究年報第39号『20世紀後半から21世紀におけるキューバ・CARICOM関係の変化に関する考察』にて発表した。

2018年にはジャマイカのキングストンで、2019年にはトリニダード・トバゴのポート・オブ・スペインで、西インド大学の講師や研究員、学生らの協力のもとで合計1300人超に対する大規模な意識調査を実施した。これをまとめて分析・考察を行った成果を2018年12月同志社大学地域紛争研究会例会及び2020年11月のラテン・アメリカ政経学会第57回全国大会にて口頭発表を行い、2019年3月に大阪経済法科大学法学論集第80号に“Jamaican Attitudes Toward Foreign Countries: A Survey Study Jamaican Attitudes Toward Foreign Countries: A Survey Study”を、そして2022年9月に名城大学人文紀要58巻1号に“A study of citizens' attitudes toward foreign countries: A survey of Jamaica and Trinidad and Tobago”の2本の論文として発表した。

この研究では、上記2ヶ国を事例にカリブ地域におけるナショナリズムや地域感情、地域諸外国に対する感情、認識のあり方を示した。この調査にもカリブの人々の複雑なナショナリズムのあり方が表れていたが、これを理解するにあたって、英語圏カリブにおけるもっとも重要な左派ナショナリズムの核のひとつといえるのがアフリカ性である。アフリカ性について、オビアと呼ばれる宗教を取り上げ、これを取り巻く状況や人々の意識について考察を行い、成果は2022年11月のラテン・アメリカ政経学会第59回全国大会で口頭発表を行った後、論文としてまとめて

いる。この論文は査読を経てラテンアメリカ研究年報第 43 号に掲載が決定しており、2023 年 7 月に発表予定である。

また、2021 年度にはキューバにおける開発援助の例とその問題点を共著(図書)『日本の国際協力中南米編』ミネルヴァ書房 2021 年 12 月(担当範囲:第 11 部 第 8 章)にて発表し、これに事例を追加し、日本以外の援助との比較の視点を加えたものを論文として名城大学人文紀要 57 巻 1 号に『日本の政府開発援助に関する考察 対キューバ援助を事例に』として発表している。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計5件（うち査読付論文 4件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 森口舞	4. 巻 57(1)
2. 論文標題 日本の政府開発援助に関する考察 - 対キューバ援助を事例に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 名城大学人文紀要	6. 最初と最後の頁 77-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森口舞	4. 巻 39
2. 論文標題 20世紀後半から21世紀におけるキューバ・CARICOM関係の変化に関する考察	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ラテンアメリカ研究年報	6. 最初と最後の頁 135-163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森口舞	4. 巻 80
2. 論文標題 Jamaican Attitudes Toward Foreign Countries: A Survey Study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 法学論集	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森口舞	4. 巻 58(1)
2. 論文標題 A study of citizens' attitudes toward foreign countries: A survey of Jamaica and Trinidad and Tobago	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 名城大学人文紀要	6. 最初と最後の頁 35-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森口舞	4. 巻 43
2. 論文標題 ジャマイカとトリニダード・トバゴにおける アフリカ系宗教を巡る状況とオピア法	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 ラテンアメリカ研究年報	6. 最初と最後の頁 掲載決定済、校正中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計4件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件)

1. 発表者名 森口 舞
2. 発表標題 ジャマイカとトリニダード・トバゴにおける外国に対する意識調査の考察
3. 学会等名 ラテン・アメリカ政経学会第 57 回定期大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 森口舞
2. 発表標題 21世紀キューバ・CARICOM諸国関係の変化とその背景
3. 学会等名 日本ラテンアメリカ学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 森口舞
2. 発表標題 島嶼カリブにおける世界的貿易自由化とロメ協定失効の政治的影響に関する考察
3. 学会等名 地域紛争研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 森口舞
2. 発表標題 ジャマイカとトリニダード・トバゴにおけるアフリカ系宗教を巡る状況とオビア法
3. 学会等名 ラテン・アメリカ政経学会第 59 回定期大会
4. 発表年 2022年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 松下冽編著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 288
3. 書名 日本の国際協力中南米編	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------